

『宮崎の冬の風物詩』

11 月も終わりに近づくと、気温もだんだんと下がり、冬の訪れを感じるようになります。今回は、宮崎の自然や文化と深く結びついた冬を彩るいくつかの風物詩をご紹介します。

大根やぐら

漬物用大根の生産量日本一を誇る宮崎県では、寒風が吹き始める頃になると、田野町や清武町などに巨大な「大根やぐら」が姿を現します。高さ約 6m、長さ 20～150mの竹で組まれた大きなやぐらに、大根がずらりとつるされ、冬の陽射しを浴びる姿は、宮崎の冬の風物詩です。山から吹き下ろす寒風と豊かな日照に加え、農家の方々が手間をかけて天日干しを行い、地元の特産品である切り干し大根や沢庵漬けが出来上がります。

高千穂の夜神楽（よかぐら）

高千穂町で行われる夜神楽は、毎年 11 月中旬から 2 月にかけて行われる伝統的な神事です。五穀豊穡や家内安全を祈願し、神々をもてなすために 33 番の舞が夜通し奉納されます。かがり火に照らされた舞台上、神話に基づく舞が繰り広げられるこの神楽は、国の重要無形民俗文化財にも指定されています。



青島の裸まいり

「山幸彦・海幸彦」の日向神話のふるさと青島では、伝承を再現して、毎年 1 月に白装束、白ふんどし姿の参加者が、寒風吹きすさぶ中、青島の海に入り身を清め、無病息災を祈願します。

岬馬（みさきうま）の冬毛

国の天然記念物にも指定されている日本在来種の野生馬が生息する都井岬では、冬になると、もこもこの冬毛に覆われ、広大な草原を歩く温かそうな岬馬たちの姿が見られます。



これらの風景や行事を通じて、宮崎ならではの冬の魅力を感じてみてはいかがでしょうか。

※日本語訳は後日、（公財）宮崎県国際交流協会のホームページに掲載されます。

このコーナーへのご質問、ご意見、ご要望は：（公財）宮崎県国際交流協会まで

TEL：0985-32-8457 FAX：0985-32-8512 Email miyainfo@mif.or.jp

毎日の生活に関してご質問、ご心配事などありましたら：みやざき外国人サポートセンターまで
TEL：0985-41-5901 FAX：0985-41-5902 Email support@mif.or.jp